

# TCFDガイダンス3.0の概要

- **「環境と成長の好循環」**の実現に向けて、気候変動対策に積極的に取り組む企業に資金が供給されることが重要。**企業のTCFD提言に基づいた開示を促進するため**、2018年12月に経済産業省が「TCFDガイダンス」を策定。民間主導で設立された**TCFDコンソーシアム**において、2020年7月に「TCFDガイダンス2.0」を策定。
- **昨今の情勢の進展**、TCFD等による**ガイダンス文書の充実**を踏まえ、**開示への取り組みを開始した機関を主な対象**として、全面的に改訂した「TCFDガイダンス3.0」を2022年10月に策定。
- 業種別の開示推奨項目を別冊化し、本編はコンパクトな構成とした。なお、事例集は最新動向を盛り込み別途発表予定。

## 〈TCFDガイダンス3.0 本編の構成〉

項目	概要	旧版からの主な改訂
第1章 はじめに	● TCFDを巡る背景、ガイダンス作成及び改訂の趣旨、本ガイダンスの位置づけについて説明。	● TCFDを巡る状況のアップデートを実施。
第2章 TCFD提言に沿った開示に向けた解説	● TCFDの4テーマ「ガバナンス」「戦略」「リスクマネジメント」「指標と目標」に加え、「情報の開示媒体」「異なるビジネスモデルを持つ企業の開示」「中堅・中小企業の対応」についてガイダンスを記載。	● 有価証券報告書への開示、戦略における移行計画、「指標と目標」における産業横断的指標等の最新動向を反映。
第3章 TCFD開示を通じた企業価値の向上に向けて	● 「TCFD開示と企業価値の向上」「開示に取り組むことの重要性」「ブラッシュアップ」等、全体の結語的な内容。	● 情報のアップデートを実施。
第4章 補論（新規）	● 最新動向として重要なもの、コラム的なものについてとりまとめた。 ● ①各種関連ガイダンス、②気候関連情報に関する日本の主な開示制度、③他のフレームワーク、スタンダード等におけるTCFD対応、④IFRSサステナビリティ開示基準、⑤トランジションに関する議論の動向、⑥TCFDからの刊行物、の6つについて記載。 ● ①②③⑤は現在のコラムからの移行及びアップデート、④⑥は新規作成。	